



## 東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「よく学び よく遊べ」

令和5年1月27日

NO. 40

校長 白水 聡

### ぼうぶらずうし

恥ずかしながら、わたしは生まれて初めてこの言葉を聞きました。みなさんをご存知のことと思いますが、彼杵の郷土料理だそうです。この料理を、2年生の子供たちが生活科の学習の一環で、食生活改善推進員（通称：食改さん）の方々に教えていただきました。



1月23日、7名の方々にお越しいただき、「ぼうぶらずうし」を作っていただきました。「ぼうぶら」はかぼちゃのこと。「ずうし」というのはおじやのこと。くじらの出汁で煮込んだ、かぼちゃ入りのおじや（雑炊）のことを「ぼうぶらずうし」というのだと教えていただきました。子供たちも試食させていただきました、その味にふれることができました。

朝早くから、準備から片付けまでしていただいた食改のみなさん、どうもありがとうございました！今後も「健康作りのボランティア」として、ご活躍を応援しています。

### 波佐見焼を学びました。

1月24日には、4年生が社会科の「わたしたちの住んでいる県」の学習で、波佐見町の福田陶器店の福田洋平様にゲストティーチャーとしてお越しいただき、波佐見焼をとおした町づくりについて学びました。ご家族で代々62年間、波佐見焼を販売してこられたそうです。授業では、波佐見焼の特徴や、現在の販売の仕方などをわかりやすく伝えていただきました。陶器まつりは大きな賑わいを見せること、有名なチェーン店にも波佐見焼の食器が使われていることなど、とても興味深いお話でした。また、最近はインターネット販売も力を入れておられるとのことでした。右の写真のようにホームページも見せていただきました。



「こつこつと地道にやってきて、少しずつ成果が見られるようになってきました。」と話されました。あきらめずに続けることが大事なのだというメッセージだと受け止めました。お忙しい中、とても貴重な時間を作っていただき、どうもありがとうございました！

### 給食集会



1月26日の朝はリモートでの給食集会を行いました。左の写真は栄養教諭の中島先生による給食のお話の様子です。給食には様々な地域の食材が使用されていることが伝わりました。その後、給食委員会による発表やクイズもありました。

私は、食事のマナーとして「食器を持って食べましょう。」と伝えました。いつも安全でおいしい給食を提供してくださっているセンターの皆さんに感謝しながら、今日も“いただきます！！”